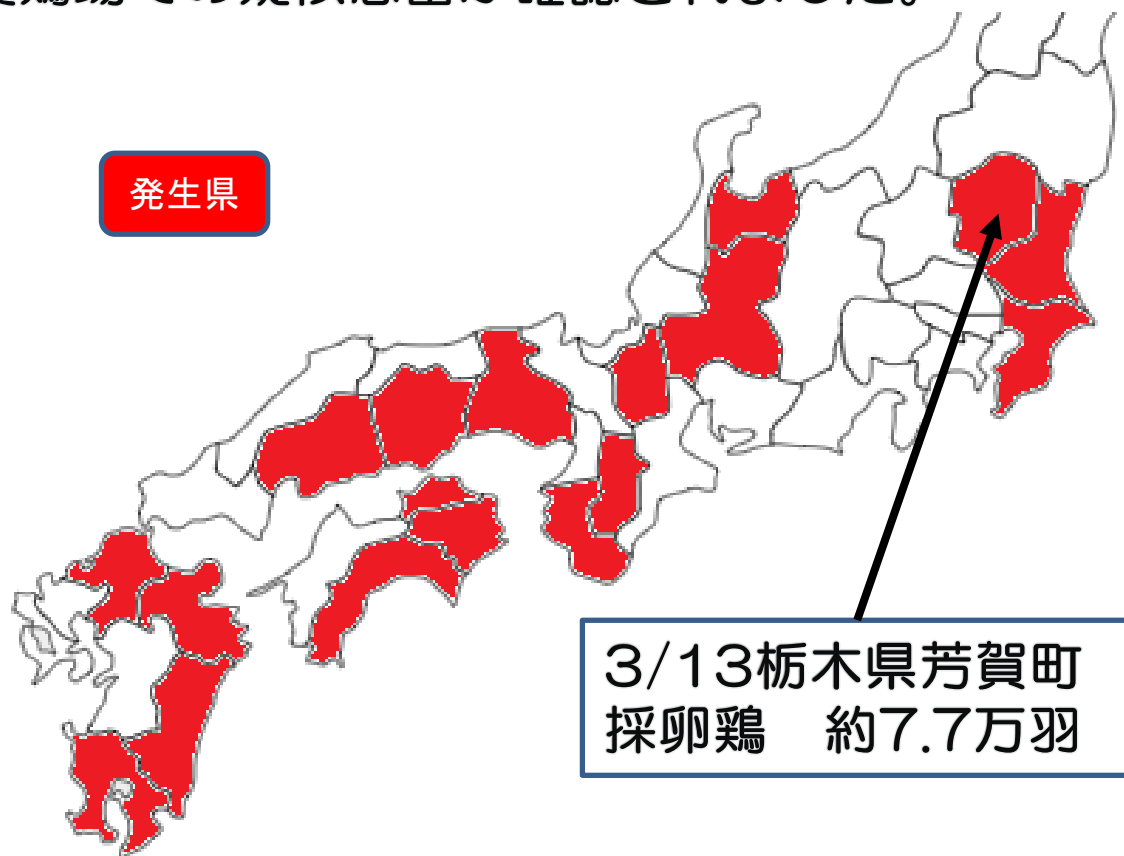


高病原性鳥インフルエンザ国内発生状況

- ◆3月13日に国内52例目、栃木県において初となる養鶏場での疑似患畜が確認されました。



- ◆今季国内の家きん及び野鳥から得られた検体の解析から、5種類の遺伝子型のウイルスが国内に侵入している事がわかりました。
- ◆すでに渡り鳥の北帰行が始まっており、発生リスクは5月の連休頃まで高いと予想されることから、引き続き最大限の警戒が必要です。

○飼養衛生管理基準を再度確認し、不十分な項目を是正することで、発生予防対策の強化に努めてください。